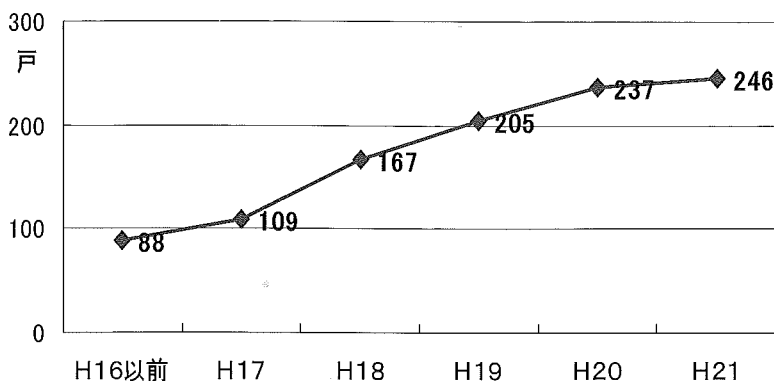


印旛普及だより

第 20 号

〒285-0026 佐倉市鎌木仲田町8-1 TEL：043-483-1128 FAX：043-485-9502
 ホームページアドレス <http://www.pref.chiba.lg.jp/apcenter/inba/>
 発行：印旛農林振興センター地域振興部改良普及課・印旛地域農林業振興普及協議会

図1：印旛地域の締結農家数の変化



「わが家のルールづくりをして、農家経営の改善を！」と家族経営協定を締結農家が、印旛地域で246戸(平成22年9月末)に増えています。

**家族経営協定を経営
にいかしましょう**

そこで、家族経営協定を結ぶ女性農業者を対象に、「経営主と共同申請して認定農業者になるう」と7月15日に研修会を行いました。



共同申請について、女性農業者で研修しました

また、農林振興センターでは協定が経営にいかされているかを把握するため、締結農家全戸にアンケートを行いました。アンケート結果は、表1のとおりです。協定の締結がきっかけとなり、家族での話し合い、家事や農作業の役割分担はかなり実行されているようです。

項目	実行できている	まあ実行できている
経営計画・目標の話し合い	29.5	56.2
経営やくらしの役割分担	42.9	53.3
休日や労働時間	21	36.2
収益の配分や労働報酬	26.7	51.4

表1：家族経営協定の実行状況 (%)

協定を締結するねらいは、「経営目標を共有し」「協働意欲」を引き出し、個人のモチベーションをアップすることです。

協定は、締結したときそのままでなく、経営の変化や家族構成員が変化したときに見直しを行うことで生きてきます。年末や年の初めを「家族会議の日」としてみてはいかがでしょうか。

あなたもやってみませんか？

エダマメの 早出し栽培

1 栽培の特徴

ハウス、トンネルで1月下旬～3月上旬に播種し、5月上旬～6月中旬に収穫する作型です。この作型は価格が安定しているうえ、病害虫の発生が少なく、無農薬栽培が比較的可能です。調製作業が楽などの利点があります。

反面、育苗・保温資材が必要なこと、温度管理に手間がかかるなどの課題もあります。

2 品種

品種は、「サツポロミドリ」、「天ヶ峰」、「莢音」など75日タイプといわれている品種が適し、広く栽培されています。実際の栽培では、播種から85～90日程度で収穫となります。

3 播種・育苗

着莢安定のため移植栽培を行

います。ハウス内または露地にトンネルを作り育苗場所（播種床）にします。

トンネル育苗では、あらかじめ播種数日前に古ビニールまたはナシジビニールによるトンネル、ポリマルチ被覆を行い地温を高めておきます。

ハウス内で地床に播種する場合は、かなり乾燥しているので、床作り前に十分なかん水を行った後、床を作ります。

① 播種

箱育苗の場合、深さが7cm以上ある育苗箱に保水性、通気性に優れた培土を用います。

ア 電熱線を用いた育苗

播種後鎮圧し種子が隠れる程度に覆土しその上に電熱線を敷き新聞紙等で覆います。発芽がそろったら電熱線を外します。このとき、外すのが遅れると茎が伸びすぎてしまうので注意します。

イ 敷き藁を用いた育苗

播種数日前からポリやビニールでマルチをして地温を上げておきます。播種後覆土をし、新聞紙の代わりに表面に敷き藁をした後、再び発芽までポリで覆います。

播種後のかん水は禁物です。発芽適温は27～30℃で、4～5日後発芽このときも発芽後、茎が伸びすぎないうちに新聞紙やマルチを除去します。

4 定植・保温管理

子葉が展開し初生葉（最初に對に出る葉）の展開前から展開時が定植適期です。地力のある畑では初生葉展開後に植えます。

本ほの施肥は10a当り苦土石灰120kg、落花生化成90kg袋など前作の肥料残効を考慮し施用します。

トンネル栽培では保温のため間口4尺以上のトンネルを用意します。条間40cm、株間15～18cmの穴あきマルチを張り、葉やけを防ぐため梨地ビニール（厚

さ0.75mm）で被覆をし、1穴に1～2本植えとします。定植時、苗の活着をよくするため根を水に浸して植え付けます。

定植後、防霜と保温のためタフベルなどの不織布べたがけを行うと生育が促進されます。

定植後は日中30度を目標に換気し、25℃以上になるよう努めます。夜間の最低温度は10度です。べたがけ除去は4月下旬頃です。5月になると換気を解放するようになりますが、風害を避けるため、トンネル撤去は5月中下旬になります。

5 収穫

播種後約2ヶ月で開花盛期、その約1ヶ月後が収穫適期です。開花始期から10日程度は低温、強風に当てないことです。



早めの管理で梨の高品質・大玉多収生産を!

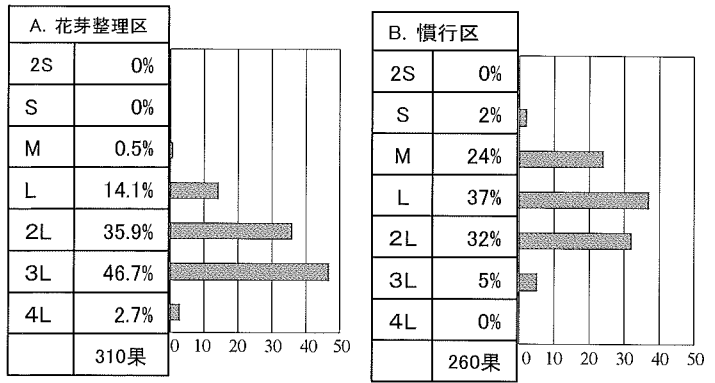
《本格的にせん定が始まりました。早めの管理で高品質・大玉梨の生産を行いましょよう。》

1. 花芽整理の重要性

高品質・大玉梨を生産するためには、無駄な養分の消費を抑え、その養分を果実の肥大に集中させることが重要です。梨は、花を咲かせるために貯蔵養分の6〜7割を使ってしまうと言われていています。着果数以上の花が結実した場合は、摘果しなければなりません。花芽整理は無駄な養分消費を抑えるだけでなく、作業労力も軽減できるのです。

よって、無駄な開花を少しでも減らすため、積極的に花芽整理を行いましょよう。
表1は平成十四年に行った、花芽整理区と慣行区の階級比率調査の結果です。

表1 平成14年 花芽整理の有無による果実肥大状況 8月1日調査



花芽整理の効果

せん定は3月上旬までに行い、その後花芽整理を行う。
開花による養分消費を抑える
&
受粉・摘果作業の軽減
摘果の時期に新梢管理が出来る

養分が果実に集中
高品質・大玉梨の生産

このように、花芽整理を行うと無駄な養分消費が抑えられるだけでなく、受粉や摘果作業が楽になります。

2. せん定の簡易化(予備枝の利用)

花芽整理を行うためには、せん定作業を3月上旬までに終わらせることが重要です。そのためには、せん定の開始時期を早めるか、せん定のスピードを上げる必要があります。

せん定の作業スピードを速める方法としては、予備枝の利用が重要です。予備枝は1〜2年前から準備するため、結果枝の交換が計画的に行えます。良い予備枝を育成すれば、その隣にある結果枝を切って、予備枝を倒すだけなので、結果枝の

配置を考える時間が短縮されます(図1)。

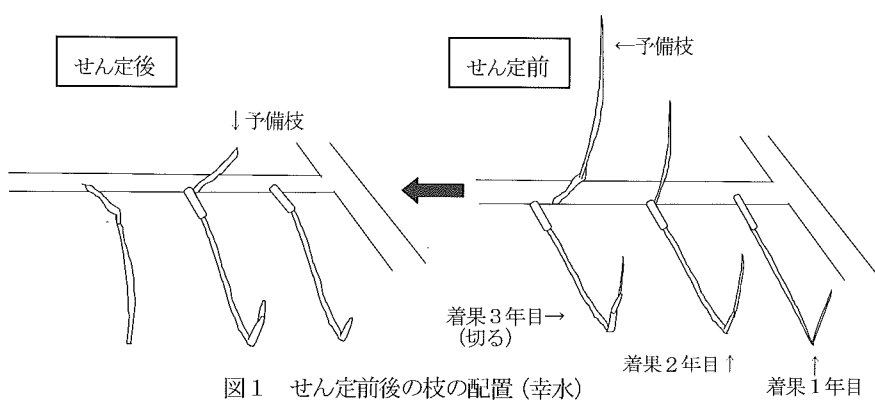


図1 せん定前後の枝の配置(幸水)

積極的に予備枝を育成して、せん定の簡易化を行いましょよう。そして、花芽整理を計画的に行い高品質・大玉梨の多収生産を目指しましょよう。

家庭で出来る

「ひらたけの原木栽培」

自然でのひらたけは、秋に広葉樹の枯木に群生します。

販売物は、オガ粉などを材料に人工栽培され「シメジ」の名称で親しまれています。

原木で栽培したひらたけは、味・菌触りなど格別です。栽培して見ませんか。

原木（短木）栽培法

1. 栽培に適する原木

原木に適する樹種は、エノキ、ポプラ、シデ、ホオノキなどほとんどの広葉樹が利用できます。

2. 原木の調達

原木となる木は、伐採後1月くらい後に長さ40cmに玉切りを行い、接種時にはさらに、2等分する。

3. 接種

接種の時期は、2〜4月ごろが適当です。

【混合種菌の作り方】

オガ菌…一リットル
米ぬか…二リットル
オガ粉…二リットル

以上の3種をきれいな容器に入れ、殺菌された水を容器に注ぎながら均一になるよう攪拌し、種菌を握り指間から水がにじむ程度を目安に種菌を作る。

【接種の方法】

二等分した原木の一方の木口に2cmの厚さに塗り、もう一方の原木を木口が合うように重ね、種菌が零れ落ちないように、ガムテープを巻く。

4. 仮伏せ

接種した原木は、2〜3段に積み重ね、周囲をコモやわらで覆い、菌の蔓延を促します。

5. 本伏せ

8月に入ったら、サンドイッチにした原木を二つに割り、排水が良く、直射日光の当たらない場所に、接種面を上にして8分目ほど埋め込み、わらで覆う。

6. 小屋かけ

通常発生は、接種した年の秋からします。

良質なきのこを収穫するため、発生前に小屋かけを行い、たっぷり散水を行います。

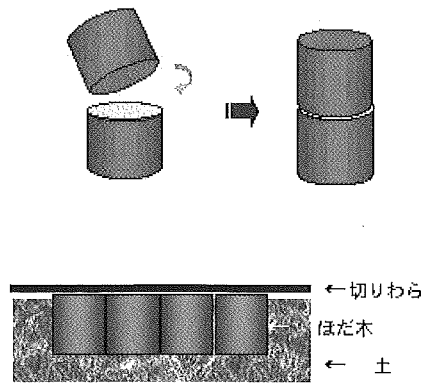
7. 収穫

品種にもよりますが、温度が10〜18℃になると発生します。発生後には適宜散水することのできのこが発生します。

取り残しが無いように収穫してください。

8. 収穫後の管理

ホダ木は、2〜3年間使用することが出来ます。



農業経営体育成セミナーの参加者を募集します

新しく農業を始めた皆さんを対象に、同世代のネットワーキングづくりと、農業の基礎的・専門的な知識・技術を段階的に身に付けることを目的に開催します。3月に卒業者を予定されている方、就農を考えている方。ぜひご参加ください。

・対象者：新規に就農した者でおおむね35歳までの青年農業者

・内容：研修期間は3か年、講義および現地視察等を行います。

・開催場所：印旛農林振興センターおよび同管内の現地

・研修期間：平成23年5月から平成24年3月まで

・参加経費：基本的に無料です（一部、必要経費をいただく場合があります）。